

シニアアンサンブル
楽団紹介

(新加盟楽団紹介)

茂原シニアアンサンブル発足報告



2020年8月1日に千葉県茂原市に新たにシニアアンサンブルを立ち上げました。本来なら5月スタートの予定でしたが、新型コロナ騒動が持ち上がりのびのびになっていました。

茂原市は、千葉県外房の長生地域中央にある人口約88,500人の歴史ある商業都市です。ここにシニアアンサンブルを立ち上げようと思ったきっかけは、千葉県連盟の10周年記念誌を編纂したことでした。千葉県内のSEの分布を図に表してみると、この地域にSEがないことが気になったのでした。

茂原市には何の足がかりもなかったので、まず、シティライフという地域情報紙の3月版に「茂原シニアアンサンブル立上げ協力者募集」を掲載してもらいました。するとなんとコロナ騒動の最中にも拘わらず、僅か1週間で10の方から電話がありました。なお、指導者は、2月頃、千葉SEの指導者、横林歩先生を紹介していただいて早々に決まっていました。

6月6日に先生と協力者の方にお集まり頂き準備会を開きました。そこで練習会場、練習日、発足日を決め、分担して発足団員募集を開始しました。

8月1日(土)午後1時、茂原市本納公民館 音楽室に先生を含めて19名が集まりスタートしました。

合奏が初めての方が多いため初日は合奏練習の基本的な説明が先生からありました。

最初は指揮の見方、全体音量の大小は指揮棒の振り方や左手の上下で示すこと、音のタイミングは想定した窓枠に指揮棒がぶつかる時など。

ついで、楽譜を用いた4声部和声によるハーモニーの練習に入りました。4グループに分けて8小節を演奏しハーモニーを感じる練習。更に、指揮者の指示で、各グループが強弱をつけて演奏する練習など。

その他、ドラムスは第2の指揮者といわれており、指揮が見えないときはドラムの音に合わせること、さらに、ベースとともに曲の土台を作るので、曲はこの土台の上にのってつくるという話でした。



休憩後、「川は呼んでいる」、「遠くへ行きたい」、「コンドルは飛んで行く」を合奏しました。

前半の基礎練習があったせいか、最初の1曲目からかなり揃った演奏が出来たと思ったのは私だけではないでしょう。今後の成長が楽しみな楽団になりそうです。

10月末現在、バイオリン、ビオラ、チェロ、マンドリン、フルート、サックス、ピアノ、ギター、ベース、ドラムスと揃いましたので、あとクラリネットとキーボードなど今後期待したいと思います。(松永恒文)

添付の写真は、8月29日の撮影です。